

1. 開会 進行：藤原生涯学習課係長
2. あいさつ 大北教育長
3. 委嘱状交付 机上交付
4. 委員自己紹介 各委員
5. 事務局自己紹介 各課職員
6. 委員長・副委員長の選出について  
池田委員を委員長、岸本委員を副委員長に選出
7. 報告
  - (1) 三木市教育の基本方針について 河端生涯学習課長より説明
  - (2) コミュニティ・スクールについて 計倉委員より報告
8. 議事
  - (1) 令和6年度社会教育施策の推進について 各課長等より趣旨説明

**【質疑応答】**

(池田委員長)

- ・では、「令和6年度社会教育施策の推進について」、ご質問、ご意見がある方は、発言をお願いします。

(中西委員)

- ・災害時のアナウンスについて、偶然出会った70歳代の一人暮らしの方が、美囊川において避難などのアナウンスが流れた時に、とても不安に感じたということ伺った。この件について、どこに行けば相談できるのか。

(河端生涯学習課長)

- ・防災関係についての所管課は危機管理課となる。また、要支援者については、各自治会で把握されているはずである。

(岸本副委員長)

- ・民生委員をしているが、危機管理課と福祉課において要支援者の名簿を持っており、公民館にも同様の名簿はあるはずである。それに基づき、区長や民生委員が要支援者を把握していると

思う。

(小舟委員)

- ・ 区長協議会において、各区長が名簿を基に要支援者を把握している。また、地域の方に確認していただけたらと思う。
- ・ 生涯学習課の中で将来に向けた人づくりについて記載があり、まなびの郷みずほにおいて、「地域のコミュニティの場とするために、活用連絡会を核として、各団体間のイベントやキャンプなど青少年の体験活動を通じて交流促進を図る。」とある。委員長の話の中にも、子ども会のキャンプのことがあり、まなびの郷みずほにおいてもキャンプをすると聞いて、とても大切な活動だと感じた。そこで、そのキャンプにおいて、子どもたちと地域の方々の交流はあるのか。

(河端生涯学習課長)

- ・ まなびの郷みずほは、地域住民の交流の場として設置されているが、高齢者大学、大学院が入居し、学生の学びや生きがいくりの場として活用されている。
- ・ 地域の子どもたちは減少傾向にあるが、地域の方々が中心となってこのキャンプを実施しており、子どもたちは学校行事の一部のように楽しみにして参加している。

(西田委員)

- ・ 中央公民館の複合化について、資料に「今年度はコンサルティング業者と協力しながら、『中央公民館等複合施設基本計画（案）』の策定を進め、来年度着手する設計、施工の事業者選定に向け事業を進める。」とあるが、現在の進捗状況を教えていただきたい。

(河端生涯学習課長)

- ・ 現在、計画（案）を策定するべく調整しているところであり、具体的な案は、もう少し先になれば形になってくる。

(石田委員)

- ・ ここ最近、活字離れが進んでいる。市内の本屋もとても少なくなっている。そこで、三木市の図書館の利用者数や貸出冊数はどのようになっているのか。

(伊藤図書館長)

- ・ 令和3年度の実績によると、人口規模が同等クラスの市町村立図書館において、貸出冊数と予約冊数ともに全国第3位となっている。

(兼貞委員)

- ・ ネット見守り事業について、具体的にどのようなことをしているのか、市内でどのようなトラブルがあるのか教えてほしい。

(計倉教育センター所長)

- ・ インターネット上で子どもたちに悪影響を与えるようなものがないかどうか、青少年センターから特別監視員にネット検索をするように依頼しており、子どもたちがネットトラブルに巻き込まれていないかどうか確認してもらい、毎月報告をもらっている。
- ・ 市内では、特に大きなトラブルは見受けられなかったが、SNSなどの投稿で気になる案件については、教育委員会と連携しながら対応している。

(國井委員)

- ・ 人の目垣根隊の保険について、登録者全員加入しているのか、実際に活動されている人だけ加

入しているのか、どちらなのか。

(計倉教育センター所長)

- ・登録者を保険加入の対象としている。

(國井委員)

- ・実際に活動している人数はどのくらいか。

(計倉教育センター所長)

- ・実際に活動されている方は少ない状況である。
- ・この保険については、事故等に遭われた後に申請するシステムとなっているため、実際に活動される方に保険が適用される仕組みとなっている。

(國井委員)

- ・これまで、事故等に遭われたような事例はあったのか。

(計倉教育センター所長)

- ・昨年度、活動中に怪我をされた方がいた。

(大北教育長)

- ・人の目の垣根隊の制度が始まった時は、多くの方の登録があった。
- ・青少年センターでは、これまでの登録者1人ひとりに活動を継続するかどうかの意向確認をして、改めて登録者を確定させ、保険に加入している。

## (2) 部活動の地域移行について

藤原生涯学習課係長より説明

(西田委員)

- ・小学生も対象なのか。

(手島文化・スポーツ課長)

- ・中学生のみを対象と想定している。

(西田委員)

- ・最近では、ゴルフであればプロの方が指導していることもある。地域でもテニスなどを指導されている方もいる。子どもたちにとっては、地域の方に指導してもらうことについて、どのように感じているのか聞いたことはあるのか。

(手島文化・スポーツ課長)

- ・現在作成中のガイドラインがお見せできるようになったら、子どもたちの意見を聴こうと思っている。
- ・今年度、先進地視察をした中で、川西市では、大学生が子どもたちの指導をしており、大学生にとっても学びになり、子どもたちも楽しんでいるようであった。
- ・東広島市では、高齢の方が指導されており、子どもたちも楽しそうに指導を受けていた。

(小舟委員)

- ・子どもたちには多様な希望があると思う。その子どもたちの希望を拾うことができるような事業展開を期待する。

(八木委員)

- ・自分の子どもが吹奏楽部に入っているが、顧問の先生が多忙なため、先輩に指導してもらっていると聞いている。しかしながら、その先輩も練習などで教えることができない状態になると、ひとりで練習することが多くなるようだ。そのような状況では、経験者や知識が豊富な方が指導者となればよいと思う。

- ・地域の指導者は、無償のボランティアなのか、有償なのか。

(手島文化・スポーツ課長)

- ・現在、ガイドラインを作成中であるため、正式には決定していないが、基本的には受益者負担の考え方で、子どもたちからいただく会費の中から指導者への謝礼等を支払うことになる~~か~~と思う。

(計倉委員)

- ・部活動の環境は、年々変わってきている。そのような現状を踏まえたうえで、ガイドラインを作成していただきたい。心配なのは、指導者の確保ができるのかということと、活動場所がどこになるのかということである。

(大田委員)

- ・小学生でも色々な活動をしている状況で、中学生になった時に、自分が希望する活動ができるのかどうか重要である。

(佐藤委員)

- ・大学の学生は、母校に戻って部活動の指導をしたいという思いがある。しかしながら、将来的に中学校の部活動がなくなると、学生のモチベーションが低くなってしまう。
- ・独立した指導者として活動するとなれば、まだまだ生計を立てることはできない。
- ・学生が地域に入り、地域クラブにおける指導のサポートならできる可能性はある。ただし、活動時間の調整が必要となる。

(國井委員)

- ・地域クラブになると、学校外の活動となるため、怪我などをした時の対応をどうするのか検討する必要があるのではないかな。

(兼貞委員)

- ・子どもたちによって、クラブ活動に求めるレベルが異なるのではないかな。それぞれのレベルにおいて、子どもたちのためになる活動になればよいと思う。

(石田委員)

- ・指導者として、有償ボランティアを活用すればよい。しかしながら、報酬が少なすぎるため、増額する必要があるのではないかな。そうしないと、優秀な指導者が集まらないと思う。

(中西委員)

- ・顧問の先生が多忙であるため、不在となることがあり、指導が不足してしまっている部活動もあると聞いている。その代わりに、保護者が子どもたちを見守るような場面もあったようだ。
- ・子どもたちをしっかりと見守っていただき、子どもたちにとって、何のための部活動なのかをしっかりと指導していただくことで、子どもたちの成長に繋げてほしい。

(手島文化・スポーツ課長)

- ・委員からのご意見にもあったが、技術の向上を目指す子どももいれば、活動を楽しみたいとい

う子どももいると聞いている。

- ・ゴルフで言えば、三木市にはゴルフ協会による教室において、技術の向上を目的とした活動もしている。
- ・地域クラブでは、まずはゴルフに親しみを持ってもらえるように間口を広げ、多くの子どもたちがゴルフを体験できるような活動にしたい。
- ・スポーツや文化活動は、生涯通してできることであるため、子どもたちが多くのことを経験できるようなものになればよいと考えている。

(池田委員長)

- ・以上で議事については終了する。それでは、進行を事務局に返す。

## 9. その他

東・北播磨地区、県・近畿・全国社会教育委員協議会関係予定

藤原生涯学習課係長より説明

## 10. 閉会

あいさつ

岸本副委員長

～午前 11 時 45 分終了～

記録者 生涯学習課係長 藤原正和